

# わくわく だより



今年の冬は暖冬と言われていたのに雪が多いですね。若い頃は雪でも恐いもの知らずで平気で運転してましたが最近では普段からヒヤとすることが多く、運転に少し自信がなくなってきたので雪の日の運転は、できるだけしほいようにと思えますが、はかばかきうもいかにいすね。

ところで先日大雪の時ですが、私は屋根に積もった雪が落ちて来るということを全く意識しておらず、家の裏口の雪避けをしていたら、突然、屋根からつららと一緒に雪が落ちて来て危うく直撃を受けることでした。

久々に見た「つらら」が懐かしいな～はんと感傷に浸った気分も一気に吹き飛んでしまいました。雪は生活するには何かと不便ですが、窓から見える雪景色は綺麗なものでした。(売買、満山)

久しぶりの大雪であちこちに雪だるまが見られましたね。



## ひとくちメモ

## 生活の知恵

### <ラップの切り口>

ラップの切り口がぴったりくっついて分からなくなってしまうことがあります。そうした場合、ガスを弱火にして遠くから、くるくる回しながらあぶります。すると、くっついてた切り口が浮き上がって来ます。但し、絶対に火に近づけ過ぎないで下さい。逆にくっついてしまいます。

また、逆に冷凍庫で冷やすという方法もあります。ラップを少しの間、冷凍庫に入れて冷やし、ちょっとひねるとラップの端が浮き上がって来ます。

### <窓ガラス等に貼ったシール>

窓ガラスやドアなどに貼ったシールやセロハンテープを取るには、ドライヤーの熱風をゆっくり当てると、熱で接着剤がゆるむので剥がしやすくなります。取った跡が残っているときはベンジンかマニキュアの除光液でこすり、その後、きれいな布でふき取っておきます。

## ひとくちメモ



### <首都圏> 中古戸建 成約取引動向



平成21年の首都圏における中古戸建住宅の成約件数は、前年比11.3%増と3年ぶりに前年を上回りました。また、価格は前年比6.8%下落と2年連続で下落しました。成約件数が増加したのは、価格の下落・低金利・住宅ローン減税等により一次取得者層や買い換え層などが購入に向かったためと思われ、立地や築年数が経過した低価格の戸建住宅は、需要が回復していると考えられます。

また、首都圏においては、価格の下げ止まり感が出ていることもあり、本年年明け早々は住宅版エコポイント制度の創設などが決まったのを受け、客足などは比較的堅調のようです。



## 豆知識

### 凍結による給湯器破損

暖かい地域でも、機器や配管内の水が凍結して破損が起こることがあります。通常、機器内は気温が凍結する温度に近くなると凍結予防のヒーターや循環ポンプの作動などで自動的に凍結を予防しますので、電気プラグを抜かないで下さい。(運転スイッチの「入・切」に関係なく、凍結予防動作を行います。)

また、配管や元栓の凍結は予防しませんので、保温材や電気ヒーターを巻く等の処置が必要です。低音注意報が発令されたときや、冷え込みが厳しい時は、給湯及び給湯配管や給水元栓の凍結を防ぐ為、通水の処理をして下さい。機器だけでなく、給水・給湯配管、給水元栓なども同時に予防できます。

手順は以下の通りです。

- ①運転スイッチを切る。
- ②ガス栓を閉める。
- ③お風呂の給湯栓を開いて、少量の水(1分間に約400cc)を流したままにしておく。

※サーモ付混合水栓の場合は、最高温度の位置に設定して下さい。念の為、約30分後に再度流れる量を確認して下さい。

※サーモ付混合水栓やシングルレバー混合水栓の場合は、やけど予防のため再使用時の温度設定にご注意下さい。

※追い焚き機能付風呂釜の場合は、浴槽の水を循環アダプター上部より5cm以上にして下さい。

※ポンプが自動的に浴槽の水を循環させて、凍結を予防します。

※水がないとポンプが空運転し、機器から大きな音が発生する場合があります。

無料進呈中

知らないで損をする!



## 『誰も教えてくれない不動産の賢い購入法』

～不動産取引って、分からない事が多すぎませんか?～

この度、土地・中古住宅の購入における基本的な流れや、不動産取引のいろいろな事について一冊の本にまとめてみました。これを読めば不動産取引の基本的な流れが良くお分かり頂けると思います。この小冊子をご希望の方は小島北店までご連絡下さい。

引越越し 住宅ローン  
税金  
自己資金 資金計画



ニヤンとなく お家探しはサービス1番の当社へ

TEL 0246 (27) 0331